

研究助成・授賞報告

平成15年度小児保健奨励賞について

平成15年度より小児保健奨励賞として、発達臨床研究賞、研究助成、実践活動助成の3分野に対して、選考の上、すぐれたものを表彰し、副賞（助成金）を授与することとなった。

発達臨床研究賞は、小嶋謙四郎早稲田大学名誉教授の日本小児保健協会への多大なご貢献を記念して設置された賞である。小嶋先生はわが国の母子関係研究の草分けであり、保健所での心理相談など、小児保健においても発達臨床心理学の立場からの先駆的な実践および研究と、心理学者、保健師の育成に努められた。

研究助成と実践活動助成は、それぞれ小児保健奨励金を活用して小児保健分野での研究および実践活動の活性化を図る目的で設置されたものである。助成の目的などについて、詳しくは本誌第62巻第3号406~407頁を参照していただきたい。

発達臨床研究賞は、平成15年10月17日に選考委員会（委員長 川井 尚氏）が開催され、本協会の機関誌「小児保健研究」に掲載された研究論文の中から、委員が事前に推薦した9編を対象に審議し、佐鹿孝子氏の論文が受賞論文として選考された。

実践活動助成選考委員会は平成15年10月10日に選考委員会（委員長 高野 陽氏）が開催され、応募11団体の活動内容について審議のうえ、愛知県病弱児療育研究会とかごしま療育研究会が受賞団体として選考された。

これらについては、理事会で報告し、受賞の決定が承認され、さらに平成15年11月14日の第50回日本小児保健学会総会で表彰された。

研究助成については、第50回日本小児保健学会での一般演題の中から、座長の推薦を得た研究を対象に、選考委員会（委員長 澤田 淳氏）で審議することになっている。

受賞者および受賞理由

第1回発達臨床研究賞（1編）

佐鹿孝子氏 「親が障害のあるわが子を受容していく過程での支援」

（小児保健研究第61巻第5号掲載）

受賞理由（要約）は、親が障害のある子を受容し、子どもを生き生きと育てていくための課題を障害児通園施設での実践の中から導き出すことを目的とした論文であり、障害をもった子どもの発達、そしてその発達を支援する条件として、障害受容にみられる親の精神発達と、その障害受容を支援する社会資源の働きがもつ意義が取り上げられており、子どもと親の発達臨床の研究として適切な着眼点を有している。とくに、親の障害受容を単発的な進行過程と見なさず、子どもの発達過程で幾度となく受容の危機に遭遇するという再発的な現象と捉えたこと、この障害受容の危機の再発性を、5例の障害児をもつ親との援助実践から具体的に記述したこと、多くの専門職種が統合されたチームとして対象の多面的な問題に対応し支援や解決を図る「協働」の重要性を指摘したことなどが評価された。

第1回小児保健実践活動助成（2団体）

愛知県病弱児療育研究会（代表 尾崎隆男）
かごしま療育研究会（代表 田中 洋）

助成のための選考にあたって次のような基準を設定した。すなわち、①団体の代表者が（社）日本小児保健協会の会員であること、②実践活動が限定された施設や地域におけるものではなく、広域性をもっていること（例えば、都道府県内、保健所管内、市町村内）、③活動が多職種、多領域の連携、協力体制のもとに実践されていること、④活動が「健やか親子21」の趣旨に沿ったものであり、これまでも成果をあげ、さらに今後もその活動の継続性と実効性が期待されること、である。各支部長より11団体の推

薦があり、選考委員会での慎重かつ公正な審査の結果、上記の2団体に助成することとし、理事会に報告し、決定をみた。

愛知県病弱児療育研究会は、県内の医療および療育施設に入院（所）中の児童に対する効果的な教育のあり方を検討し、実効ある活動を展開していること。

かごしま療育研究会は、長年にわたり県内の

障害児の早期発見とその円滑な療育への連携を、保健所、市町村、施設との間で確立し、県内の障害児支援の中心的な存在をなしていること。

等の理由から、実践の目的、内容がすぐれていると評価し、受賞の対象とした。

(文責：庄司 順一)

発達臨床研究賞選考委員

川井 尚 (委員長)、大藪 泰 (副委員長)、石川紀子、衛藤 隆、金子 保、長坂典子、中村 敬、二見大介、向井美恵、横井茂夫、吉田弘道、庄司順一 (担当理事)

実践活動助成選考委員

高野 陽 (委員長)、加藤則子、佐藤加代子、城 宏輔、塚原洋子、藤内修二、庄司順一 (担当理事)

研究助成選考委員

澤田 淳 (委員長)、太田百合子、小林正子、近藤洋子、鈴木五男、日暮 眞、前田隆秀、山田和子、飛田正俊 (担当幹事)、庄司順一 (担当理事)

お知らせ

日本小児保健協会平成15年度新入会員

(平成15年8月～平成15年11月分)

【普通会員】

北海道	福島県	横内 美香	大竹 美幸	山内 八千代
原田 正平	大瀧 昌克	吉岡 有紀子	古俣 龍一	
廣岡 憲造			齋藤 文洋	愛知県
	茨城県	神奈川県	佐藤 弘之	河口 信治
岩手県	井手添吉里子	西村 正道	嶋野 仁美	堀田 法子
渡部 朋	尾崎 康子		高増 雅子	
	野上 哲夫	東京都	中司 美幸	三重県
宮城県		相沢 雅弘	新谷 恵	浮田 頼子
萱場 潤	群馬県	安斎 真純	場家 美沙紀	恩田 清美
牛 凱軍	中山 かおり	石川 陽子	堀江 寿美	三浦 一女
	吉野加津哉(和也)	伊藤 昌弘		
新潟県		井本 寛子	福井県	滋賀県
古川 素子	埼玉県	大岡 貴史	佐藤 綾子	竹村 淳子
	森岡 加代	太田 貴子	土田 晋也	野々村 和男

次ページにつづく